

東大和三中だより

令和2年1月30日

1月号 (No.9)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

残り三ヶ月をいかに過ごすのか。

東大和市立第三中学校長 井上 敬夫

2020年がスタートしました。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される記念すべき1年になります。前回の東京オリンピックは、昭和の時代、今から50年以上前に行われました。当時は第二次世界大戦の敗戦国として焼け野原だった東京が復興を遂げたことを国内外にアピールするという大きな目標がありました。高度成長期と重なって世の中全体が前向きで明るかった時代の象徴として東京オリンピックが位置づけられています。(その辺りのことは昨年度のNHK大河ドラマに詳しく描かれていますね……。)

では、今回の場合はどうでしょうか？昭和・平成を経て令和になった今年のオリンピック・パラリンピックは、後世の人々にはどのような意味をもつものになるのか。考えるだけで「歴史的瞬間に立ち会っているんだ。」とワクワクしてきます。平成生まれの三中生の皆さんが、令和の初めに東京で行われるこの世界的なイベントを何年後かに思い返すとき、どんな感想をもつのでしょうか？とても興味深いです。

さて、中学校の時間軸で見た場合、今年度の学校生活は残り3ヶ月となりました。1・2年生の皆さんはそれぞれ進級に向けてまとめの時期に、3年生はいよいよ進路選択に向けて大詰めとなります。特に3年生は、義務教育の締めくくりとして自分自身で進路を決めなければならないプレッシャーとの戦いが続きます。ここまで来たら自分の力を信じて、健康に留意してベストのパフォーマンスを発揮して欲しいと願っています。

前回の東京オリンピックの意味は、50年後の現在多くの人に理解されています。歴史とは後世の人によって評価されるものだからです。同様に、現在まで中学校生活をどのように過ごしてきたのかは、10年後・20年後とかに意味を持ってくるでしょう。

3年生一人一人の進路選択が正しかったのかどうかは、現在では判断のしようがありません。どのような進路選択であっても、それが自分の生きる道なのです。だとするならば、堂々と卒業まで自分のやるべきことを誠実に取り組むのが王道だと私は考えます。

目先のことに一喜一憂することなく、将来を見据えて大きく成長していく三中生の姿を期待しています。

日本の伝統・文化を体験する



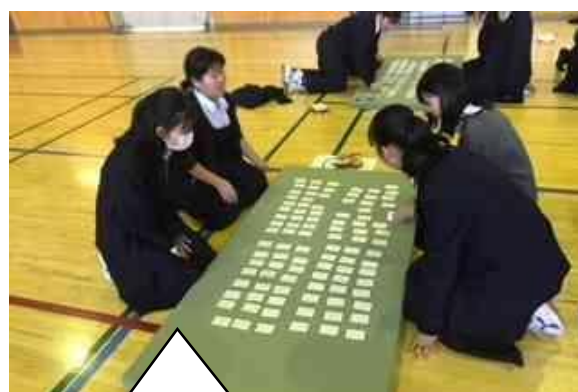
3年生の保健体育。男子は体育館で柔道です。底冷えのする体育館では柔道着に着替えた生徒が寝技の練習に取り組んでいました。袈裟(けさ)固め・横四方固め・縦四方固めの体勢からどのように逃れるのか、ワイワイと、また考えながらやっている姿が印象的でした。



1年生の音楽。箏曲「さくらさくら」を演奏するという内容でした。3時間扱いの2時間目の授業です。箏曲の譜面の読み方、演奏の仕方、琴の扱い方などを前の時間に教わった後、もう課題曲「さくらさくら」を演奏できるようになっていることにビックリしました。研究授業なので何人かの先生方が参観している中、生徒は前向きに取り組んでいました。



各教室には冬休みの宿題だった書き初めが掲示されています。国語科教員による審査で「金銀銅」の各賞が決定しました。優れた書き初めは、1月18・19日に六小体育館で行われた「小中学校連合書き初め展」に出品されました。



1月21日(火)6時間目。体育館で1年生が百人一首大会を行いました。国語科の授業で百人一首をやってきた成果を発揮する機会です。グループは、覚えている札が多くある人や反射神経で勝負する人など技量に応じた編成をして競技を開始しました。教員が札を読むときの緊張感と、取ったときのワーッと歓声があがる瞬間のメリハリがあって、とても楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。



2年生の廊下には写真のようにきれいな絵手紙が掲示されています。5月の移動教室でお世話になった農家の方が作成したものです。1月31日(金)に、絵手紙協会の方を講師に招いて、体験学習を行います。各クラス2時間ずつの体験で、はがきに描き、実際に家族や知り合いの方に出します。ステキな作品になるといいですね。

教員の学びの姿

「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に務めなければならない。（教育基本法 第9条）」



東大和市では、教科ごとに研究会を組織し、研究授業等を通して、教科の専門性を高めています。写真は、11月に本校で行われた国語科の研究授業の様子です。若手の教諭が、授業者に立候補しました。



授業後の協議会の様子。同じ教科のプロとして、忌憚なく意見を交換します。講師による指導・講評もあります。



今年度の校内の研究は、「道徳教育の充実」がテーマです。昨年度は、都の研究発表も行いました。その成果を実践に生かそうと、毎学期の研究授業等を通して、さらに研究を深めています。写真は、1月29日（水）に実施した授業の様子です。

その他、

- ・3人でチームを組んでお互いに授業を見合う「三人組ミニ研究授業」
 - ・三中グループの学校が集まり、道徳の指導について話し合う「小中交流会」
- などを実施し、力を高め合っています。

3年次までの若手教員は、各学期に1回ずつ研究授業をします。本校には、6名おります。写真は、3年次の教諭の数学の授業で、これが若手研修の課題として最後の授業になります。

校内の数学科の先生方が参観する中、「標本調査」の学習を行いました。標本調査用の実験器を用いて、生徒が扱う中で出てきたデータをもとに推測させるという導入からの工夫に生徒も食いついてきたように感じました。

授業後には、市のアドバイザーや先輩教員からの指導を受けました。



授業者は、2年の学年主任 主任教諭です。今回は、1時間の授業の中で生徒がどのように変容するか、その見取り方を探ることが研究としてのテーマでした。他の教員が生徒の様子を見ます。

「三中日記」より 三中ホームページにて、鋭意更新中！

1月17日（金）2年 調理実習

2年生の調理実習です。ジャガイモのチーズ焼きを作っています。アルミホイルを使って調理をするようですが、その前にジャガイモを煮ているところです。ハムなども使ってピザ風に仕上がるのかもかもしれません。楽しそうに取り組んでいました。

さて、お味の方はどうだったでしょうか。



1月15日（水）放課後 3年 集団面接の練習

3年生の都立推薦入試で実施される集団討論の面接練習2日目です。

今回は、校長も面接官になり生徒の様子を見ました。あらかじめ用意された課題ではなく、校長が用意した課題で行ってみました。少し難易度を高くしてみたのですが、6名の生徒は頑張って討論を行っていました。討論の内容そのものよりも「話し合う」活動を通して生徒の資質を総合的に判断するのが、集団討論を入試に取り入れた意味です。とても前向きに取り組んでいる姿が素晴らしかったです。



1月22日（水）2年 ダンスの授業



底冷えのする日でしたが、体育館では寒さを忘れるくらい夢中になって、ダンスの練習をしています。プロの方に教わったステップを復習しながら徐々に難しい動きにチャレンジしています。2年生は、3月の学習発表会で全員披露する予定です。

1月15日（水）1年 地域未来塾



数学20名、英語10名が参加しています。それぞれの力に合った個別のテキストを黙々と進め、わからないところを講師の先生に聞きます。全8回ありますが、自宅でも自発的に学習を進めてほしいものです。